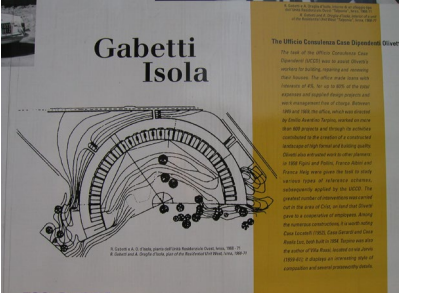


■After		タルポニア(西部住宅ユニット)					
建築名称		Unita' Residenziale Ovest				建築URL	
下段:英語名							
建築用途		大分類 宿泊施設	小分類 民泊				
設計者							
所在地		Ivrea, Torino, Italy		Google Map			
改修年		随時	元建築の竣工年	1971年			
建築規模		地下1階、地上1階(半地下)、住戸数82戸、RC造			After	建物は半円形のカーブを描き、全長300m	
構造・階数・面積							
掲載書誌					撮影者 提供者	撮影:柳沢伸也(2005年)	
賞・選定		ユネスコ世界遺産					
主な関連法規、条例、助成金 等					概要 after	タルポニア(正式名称は西部住宅ユニット)は、イヴレアのオリヴェッティ建築群のひとつで、1971年に建てられた新卒社員や若年労働者のための住居。現在は民泊や宿泊施設として活用されている。	
関連組織 等		イヴレア市(Comune di Ivrea)					
資料等		ivreacittaindustriale.it		資料のURL			
■Before		タルポニア(西部住宅ユニット)		概要 before		Talponiaは1971年にロベルト・ガベッティとアイメ・ルイージ・イゾラによって設計され、オリベッティ社の若手従業員やその家族のための革新的な集合住宅として建設された。建物は斜面に沿って半地下に埋め込まれ、屋上緑化され、トップライトで室内に自然光が届く仕組みになっている。	
建築名称							
建築用途		大分類 住居施設	小分類 労働者用集合住宅				
■写真		看板に示された平面図		After	屋上緑化部分に設けられたトップライト	After	建設当初のままに保存改修されている室内
Before							
撮影者 提供者		撮影:柳沢伸也		撮影者 提供者		撮影:柳沢伸也	
■関連タグ／リノベーションキーワード		産業遺産、外観保存、内観保存、用途変更					
■リノベーション内容		タイプライターで有名なオリベッティ社は、テクノロジーと社会の幸福を結びつける新しい生活・労働モデルを追求し、イヴレアを「労働者の楽園」となるように工場や住宅、福利厚生施設などを建設した。中でも、タルポニアは「モグラの街」と呼ばれる地下が他集合住宅で、道路からはトップライトだけが見える近未来型の実験住宅として建設された。長さ300mに及ぶ半円形のプランが特徴で、主に、新卒社員や若年労働者のための住居として設計された。タルポニアは、オリベッティ社の社会的理想を象徴する建物として、その独特の形態と機能を尊重するかたちで、維持・活用されてきた。現在、81戸の居室は分譲され、民泊など宿泊施設として活用されている。内部の設備更新や安全対策は随時行われている。					
■備考		設計者のロベルト・ガベッティ(Roberto Gabetti)とアイメ・ルイージ・イゾラ(Aimaro Isola)は、イタリアの著名な建築家。タルポニアは、「イヴレア 20世紀の産業都市」としてユネスコ世界遺産に登録された。					
■作成者 氏名／所属		柳沢伸也／JIA再生部会		作成協力者		整理番号	No. 207